

# 第15回「開かれた学校づくり」全国交流集会 in 滋賀

## 呼びかけのことば

私たちは2000年の第1回「開かれた学校づくり」全国交流集会以来、子どもたちを中心において、教職員・子ども・保護者・住民が参加し共同する開かれた学校づくり、地域の教育づくりに取り組んできました。これらの取り組みは少しずつ広がりを見せ、実績を重ねてきましたが、今日の子育てと教育をめぐる現実には厳しいものがあると言わねばなりません。子どもや若者の学びと就労をめぐる問題は深刻化の一途を辿り、それらは子どもや若者の社会における自己実現にも大きな影を落としています。教育の現場には閉塞感が広がり、直接責任に基づく民主的で文化的な教育の運営にも暗雲が立ちこめていると言えましょう。このようななかで、私たちは何に取り組めばいいのでしょうか。

本大会は、2002年第3回集会以来二度目の滋賀開催となります。そこで、12年前の大会のその後を振り返り、今日における子どもと学校の困難な現実に向けて徹底的に向き合いながら、教育の原点に戻り今一度「開かれた学校づくり」の課題、そして可能性を考えていこうと思います。

多数のみなさまのご参加を心から呼びかけます。

## 2015年 2月14日(土)～15日(日)

### 近江兄弟社学園 (滋賀県近江八幡市市井町177)

◆アクセスマップ 地図(路線・最寄詳細)



### 《呼びかけ人》(五十音順)

呼びかけ人代表: 勝野 正章 (東京大学)、中田 康彦 (一橋大学)

呼びかけ人: 池上 東湖 (大東学園)、浦野 東洋一 (帝京大学)、神山 正弘 (帝京平成大学)、菊地 克則 (横浜市立横浜総合高校)、小池 由美子 (埼玉県立川口北高校)、小島 優生 (獨協大学)、篠原 岳司 (滋賀県立大学)、武井 哲郎 (びわこ成蹊スポーツ大学)、坪井 由実 (愛知県立大学)、日永 龍彦 (山梨大学)、三上 昭彦 (明治大学)、宮下 与兵衛 (首都大学東京)、宮盛 邦友 (学習院大学)、武者 一弘 (中部大学)

### 《滋賀実行委員会・事務局》

実行委員長: 篠原 岳司 (滋賀県立大学) 事務局長: 武井 哲郎 (びわこ成蹊スポーツ大学)

《後援》 滋賀県教育委員会 (申請中)

## 日程

### 2月14日(土)

【受付】12:30～

【全体会】13:00～17:00

13:00～13:30 開会挨拶

実行委員長・呼びかけ人代表 ご挨拶  
近江兄弟社学園理事長 池田 健夫氏 ご挨拶

13:30～17:00 シンポジウム

「子どもと学校が直面する課題から『開かれた学校づくり』を再考する」

<コーディネーター> 勝野 正章氏 (東京大学)  
<シンポジスト> 中田 康彦氏 (一橋大学)  
夏原 常明氏 (滋賀県立彦根西高校)  
澤 豊治氏 (長浜市立長浜南中学校)  
山中 寿基氏 (近江八幡市立八幡小学校)  
早久間 学氏 (近江八幡市立馬淵小学校)

【交流会】18:00～

会場 酒遊館 (会費 4000円)

〒523-0862 滋賀県近江八幡市仲屋町中 21  
TEL : 0743-32-2054

### 2月15日(日)

【受付】8:30～

【分科会】9:00～13:00

## 参加費

参加費 1000円 (学生・高校生 無料)

交流会費 4000円

\*参加費・交流会費の支払いは、当日受付にて申し受けます。

## 分科会

### <第1分科会> 開かれた学校づくりの実践交流

生徒・保護者・教師参加による学校づくり(三者協議会)、生徒・地域住民・保護者・教師参加による学校づくりと地域づくり(フォーラム)、生徒参加による授業づくり(学びの共同体)の実践が現在どう展開されているのか交流し、その課題と今後の展望について話し合います。

- レポート1「大東学園高校の三者協議会」  
担当者(東京都私立大東学園高校)
- レポート2「全校生徒参加の三者協議会」  
伊藤 晃氏(長野県立岡谷東高校)
- レポート3「フォーラム(四者)と生徒会のまちづくり参加」  
宮下 与兵衛氏(元長野県立辰野高校・首都大学東京)
- レポート4「生徒参加としての学びの共同体」  
夏原 常明氏(滋賀県立彦根西高校)

### <第2分科会> 開かれた教育行政

第2期教育振興基本計画が提出され“教育再生”に向けた新しい道筋が示される中、地教行法の改正に基づき新しい教育委員会制度が提案され、地方教育行政の在り方が大きく変わろうとしています。責任体制の確立、地域住民の意向の反映を目指した制度改革は、地方教育行政にいかなる影響を与えるのでしょうか。本分科会では、「開かれた教育行政」をテーマに、多様な側面から新しい教育行政の在り方を探ります。

- レポート1 澤田 繁氏(上越市役所)
- レポート2 辻村 貴洋氏(上越教育大学)
- レポート3 坪井 由実氏(愛知県立大学)

### <第3分科会> コミュニティ・スクールの成果と課題

2004年に法制化されたコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、全国で1919校がその指定を受けるまでに拡大しています(2014年4月1日現在)。本分科会では、コミュニティ・スクールの現状を確認したうえで、各学校・地域で行われている具体的な実践について、共に学び合っていきたいと思います。子どもの学びや育ちにとってコミュニティ・スクールという制度はいかなる意味を持ちうるものなのか、討議を深めていく予定です。

- レポート1「コミュニティ・スクールの全国的な動向」  
仲田 康一氏(常葉大学)
- レポート2「滋賀県湖南市におけるコミュニティ・スクールの実践」  
宮治 一幸氏(湖南市立石部中学校・校長)
- レポート3「三重県松阪市におけるコミュニティ・スクールの実践」  
鈴木 逸郎氏(松阪市立第四小学校・コミュニティ・スクール理事長)  
大村 尚子氏(松阪市立第四小学校・コミュニティ・スクール理事)

### <第4分科会> 子ども参加と学校づくり

いま、学校は子どもたちにとってひらかれた場になっているのでしょうか。学校や教師の権威性を乗り越え、子どもたちの目線に立った学校づくりを展開することは可能なのでしょうか。本分科会では、子ども参加の質を重層的に問い直しながら、ひらかれた学校づくりの課題と展望を明らかにしたいと思います。

